

阪南市民病院 回復期リハビリテーション病棟 リハビリテーション実績指数

実績期間

令和8年4月～令和8年6月

回復期リハビリテーションを要する状態の区分	前月までの3か月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した患者数	項目	実績
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	20名	①のうち、実績指数の計算対象とした患者数…②	47名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	23名	②の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除したものの総和…③	1090点
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	13名	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和…④	19.3
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	0名	実績指数(③/④) ※	53.6点
股関節又は膝関節の置換術後の状態	7名	直前3か月の実績指数	56.5点
合計…①	63名	※実績指数が40を下回った場合、「効果に係る相当程度の実績が認められない場合」とされます。	